

ドライビング上達に効く月刊マガジン

レブスピード 6月号 2009年6月1日発行(毎月1回1日発行) 第19巻第6号 1991年9月2日第3種郵便物認可

# REVO SPEED

6  
JUNE  
2009  
No.222

「速くて、タフで、楽しい」知的チューニングを提唱!

+  
特別付録

## DVD

本格映像  
180分超

# 素敵なハンドル さばき



誌面+DVD連動特集

大井貴之のドラテク講座

カッコイイ&  
事故らない  
ハンドル操作

木下みつひろのセッティング講座

減衰力&車高は  
こうイジる!

20万円前後の8銘柄をテスト

車高調キットは  
機能性で選べ!!

今月の特典映像

全国サーキット攻略法  
岡山国際サーキット編

超人気シリーズ

車載映像の宝庫

ドラテク、セッティングのヒント満載!

CLUB MAN-SPEC 正統派チューンドの饗宴  
SPORT Light! コンパクトスポーツの楽しさ発掘!

【特】SR-05フレームによる  
高剛性と軽量化

シートフレームはSR-05（世界初のフルレーザー溶接を実現）がベースの高剛性と軽量化モデル。モータースポーツシエル（バケットシート）に近いホールド性を備え、同社のスポーツシートの中では、中間に位置するSR-3より、スポーツ指向のポジションとなっている。

丸みを帯びながら大きく張り出したシヨルダ

## よりスポーツ指向の人気モデル SR-6 SK100S

●価格：11万1300円



Z34に装着したところ。座面が低い形状なので、アイポイントは純正よりわずかに下がる

レブ塚本による試乗。肩をはじめ、上体をしっかり包み込んでくれるので、横Gに強い



「サポートが特徴で、とくに上半体の固定に優れている。また、座面が薄く低い分、背もたれの丈が長い。左の写真はカマイとシャイニングメッシュの生地コンビネーションが施された「SK100S」。その他、カマイ生地にレカロ独自開発のノンスリップ・シヨルダサポートを備えた「KK100S」（9万1350円）もラインアップされる。

【特】肩と脇の上体を中心に  
カラダを包み込む

アイポイントはSR-11同様、純正シートよりわずかに低い印象。SR-11に比べると座面の幅が広く、腰から下のホールド性はさほどでもない（大柄な人であればその限りでもないが……）。

しかし、サイドやシヨルダのサポート部分が丸みを帯びながら、カラダを包み込むように大きく張り出しているため、肩や脇など、上体を中心に密着感が高い。そのため、コーナーリング時など、横Gが大きく掛かる場合も上体のホールド性に優れ、よりスポーツ走行に適したシートといえる。

【特】発売日は6月1日  
新スタンダード始まる

レカロのスポーツシートの定番として、永らく親しまれてきたSR-3がいよいよフルモデルチェンジ。6月、新たにSR-7として登場する。SRシリーズには、フルバケに匹敵するホールド性を持ったSP-Xやハイブリッド構造のスピードスターなどの上級モデルも設定されるが、SR-7はそれらのエントリーモデルとして設定される。

SR-7が目指したのは、世界最高水準の安全性とSR-3を超える乗り心地の両立だ。そのうえで時代に合ったモダンなデザインを与えることで、次世代スポーツシートのスタン



ベルトホールは現在主流の3.5インチ幅ベルトに対応したサイズ。ホール間には伝統の3ストライプ



座面はSR-11の基本設計を受け継ぎ、体圧分布の計測と熟練のパネラーによる開発がなされている



サイドサポートはSR-11より張り出しているが、ホールド性と操作性のバランスを重視

Weight: 次号公開



前倒しレバーはSR-11から採用された新タイプで、調整ダイヤルもより操作性に優れる

ダードとすべく設計された。まず、基本となるシートフレームは、上級モデルに当たるSR-11で新たに開発された次世代フレーム、SR-05が採用される。SR-05では衝突時の衝撃を吸収するとともに、前方衝突時には乗員の前滑りを防止し、後方衝突に対しても後方への倒れ込みを抑制するなど、高度な安全設計が施されている。また、シエル構造も往年のモノコックシエルが復活。シートの高剛性も大幅に向上した。形状についても、独自の計測機器を使って実走状態における体圧分布を測定したデータをもとに吟味され、静的、動的、そして感覚的な面においても最適なウレタンの形状および材質が決定された。その結果、SR-7では乗り心地やホールド性など、ストリートユースからスポーツ走行まで、あらゆるシーンで従来モデルを上回る性能を実現。気になるSR-3からの進化ポイントやSR-6、SR-11との違いなど、試乗インプレッションは次号に掲載の予定。

## ベースフレーム

Z34フェアレディZ用  
左席用:2081.857.1  
1万8900円  
右席用:2081.857.2  
1万8900円



サイドエアバックキャンセラー付き。SR-11もSR-6も共通のシートレールとなる。車種別適合の詳細は同社のWEBに公表されている

## 取材協力はトリアル レカロ常時試座OK!



関西を代表する老舗のチューニングショップ。量販店をも凌ぐ広大な駐車場と開放感のあるショールームで、初めての来店でもとまどいが無い。



「レカロショップ」としての歴史も長く、店内には試座できるシートがズラリ! 買う前にチェックできるのは、やはりうれしい

■トリアル  
大阪府堺市美原区丹上87-1  
TEL072-369-3539 <http://www.trial.co.jp/>

## ロングセラーSR-11の後継モデル SR-7発表間近! 次号、徹底試乗レポート SR-7

●編集部予想価格 8万円台~



次号公開

次号公開

## レカロのスポーツシート最前線

ドイツのシートメーカー、レカロの「こだわり」は、果たして我々ユーザーにとって実際にどんなメリットをもたらしてくれるのだろうか？ 今回はスポーツシートを吟味した

**特徴**  
**ストリートスポーツ指向**  
**2脚揃えたくなる価格**

レカロのスポーツシートの代表格で、ロングセラーを誇るSR・III。その最終限定モデルが「アルティメイトエディション」だ。専用のロゴ刺繍やステッチ色、カミイとアルカンターラ、センターにシャイニングメッシュといった3つの生地を組み合わせたことによって付

加価値を高めているにもかかわらず、10万円を割る手頃なプライスが注目され、「それならば……」ということ

で、運転席と助手席、2脚とも換えるユーザーも少なくない。

ちなみにZ34フェアレディZで2脚ともアルティメイトエディション（助手席にはサイドサポートが低く、乗降性に優れたSR・VFを使用）に換えたバッテリーが上の写真。プラットフォームのキャビンに映えている。

**乗**  
**腰まわり中心ホールド**  
**上体はリラックス！**

取り付けにはレカロのベースフレームを使用。アイポイントは純正よりわずかに低くなった。SR3は腰のあたりや座面の横幅が狭く、大柄な人はそこを不満点として挙げるが、身長170cm足らず、胴囲70cm台後半の筆者にはサイドサポートが擦ることもなく、ジャストフィット。

腰を中心に十分なホールドが得られ、上体はリラックスして運転できる。強いて不満を挙げれば、個人背中から肩にかけての密着感が、後発のSR・6などに比べ、やや薄いことぐらいか。サイドのアルカンターラを含め、生地の肌触りはグッド！

**バリューなベーシックモデルの最終限定版**  
**SR-III Ultimate Edition**

●価格：9万9750円



鮮やかな赤の刺繍による「Ultimate Edition」のロゴが入る。プレミアム感溢れる特徴

サイドには上質なアルカンターラが着られる。肌触りのよさと滑り止めに効果あり

Weight: 14.0kg

シート形状、レバーやダイヤルなどの機構に変更はなし。シルバーのステッチが施される



Z34での装着写真。着座ポイントはわずかに低くなった。純正に対する大幅な軽量化も得られる



編集部・塚本による試乗レポート。ホールドは腰周辺で稼ぐタイプ。上体をリラックスさせやすい形状といえる